

終連報丙第三六五號

發

連絡官

昭和二十一年十月十九日

擔任

事務官

總

務

課

| | |
|----|----|
| 情報 | 普通 |
|----|----|

引揚關係 G H Q 連絡事項

十月十八日

一、リバティ船ゼームスキング號はホノルル發十月二十七日、八日浦賀入港の豫定の處同船にて將校二八名、兵一七一二名（内患者二六名）歸還する。

尙同船には沖繩縣人（兵）九五四名、支那人三名、臺灣人二十四名、印度支那人七名、滿洲人一名あり。沖繩人のみは上陸せしめず同船より沖繩向船に積込送還す。

支那人其他については今后 G I にて之が送還を取扱ふ筈。

二、十月二十五日横濱發ホノルル向 V O O 二號はホノルルより五名の精

神病患者を横み込み歸る筈。之が手配の要あり。

三、マルコム少佐申出

小笠原向歸還希望追加者は正式誓願にて申入れること。八丈島に立寄り横込むことは不可能。本件は今后GIにて取扱ふ。

四、田邊の支那人二名の件もGIに折衝ありたい。